

小さな自然博物館

詞 奥田 祐子

曲 小田 由美

やまとやまとのーた に あいにー たたずむひ とーつのは くぶつかん
こぶし のはなーかし かのなーきごえー しぜ のめぐ みがあ ぶれてるー にほ
んでいーちばん ちい さいけれどー わた したちのいちばんのた からものー とお
いむかしの ひょう が きに ヒワミズ ラモグーラ がやっ てき た
た の こしたーいきお くがあるー つ たえたいくら
しがあるー の こしたーいけし きがあるー つながー ってくーひととひとーのぬ
く もり

2 川の流れのすぐ側に たたずむひとつの博物館

黄金の穂 樹氷のきらめき 自然の恵み あふれてる

日本で一番 小さいけれど 私たちの一番の勲章

吾妻は昔 海の底 ショウバラクジラが泳いでた

残したい記憶がある 伝えたい暮らしがある

残したい景色がある つながっていく人と人の笑顔